

海外安全対策情報（令和6年度第2四半期）

1 社会・治安情勢

- (1) パラナ州公安局発表による犯罪資料報告によると、パラナ州における2023年の殺人事件の発生件数は、1,837件（前年比9.3%減）。クリチバ市における2023年の殺人件数は、200件（前年比24.8%減）。クリチバ市の人口10万人あたりの殺人件数は、11.3件であり、日本の0.73件を大きく上回る。
- (2) パラナ州における2023年の麻薬の密輸・密売件数は、12,243件（前年比21.2%増）、麻薬の所持・使用等犯罪件数は、13,358件（前年比50.1%増）と麻薬に関わる犯罪が増加傾向にある。

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

- (1) クリチバ市を含む大クリチバ圏においては、銀行、住居、店舗及びレストラン等を狙った武装強盗のほか、車両強盗や長距離及び路線バスに対する強盗事件が昼夜問わず発生している。
- (2) パラナ州はパラグアイ国境からブラジルに流入する大量の麻薬（大麻、クラック、オキシィ等）及び銃器類の密輸入ルートとなっており、密輸組織絡みの殺人事件が頻発している。
- (3) クリチバ市内においては、銀行で現金を引き出した者を狙った強盗が頻発しているため、必要以上の現金を引き出さない等の注意が必要。

3 犯罪事例（7月～8月）

- (1) 7月9日昼頃、クリチバ市ボケイラン地区(Boqueirao)ゾナルディ・ヒバス通り(Rua Zonardy Ribas)（アフォンソ・ペーナ国際空港から約8.6キロメートル）で車上荒らしが発生した。被害者が駐車場に駐めた車が何者かに鍵穴を特殊な鍵でこじ開けられ、後部座席に置いたノートパソコン等の貴重品を盗まれた。
- (2) 7月17日午前11時20分頃、サンタ・カタリーナ州イタイオポリス市(Itaiopolis)の射撃クラブで強盗事件が発生した。3人組の強盗は、オーナーの妻と作業員を縛った上で、射撃クラブの倉庫に閉じ込め、約100丁の銃器（ショットガン、リボルバー、ピストル、ライフル等）と弾薬を盗んだ。
- (3) クリチバ市のセントロ地区(Centro)、ボケイロン地区(Boqueirao)、タルマン地

区 (Taruma)、ノボ・ムンド地区 (Novo Mundo) 等、複数の地域で薬局を狙った強盗事件が発生した。

- (4) 8月8日昼過ぎ、クリチバ市クリスト・レイ地区 (Cristo Rei) プレジデnte・アフォンソ・カマルゴ大通り (Avenida Presidente Afonso Camargo、クリチバ植物園 (ジャルジン・ボタニコ) から約1.6キロメートル) を走行中のピニャイス/ルイ・バルボザ線 (Linha Pinhais/Rui Barbosa) のバス車内で強盗殺人事件が発生した。犯人は、被害者の男性を刃物で3回刺し、携帯電話を奪い逃走したが、8月9日未明にウベラバ地区 (Uberaba) で逮捕された。
- (5) 8月17日夜、クリチバ市内ジャルジン・ボタニコ地区 (Jardim Botânico) ダリオ・ロペス・ドス・サントス通り (Rua Dario Lopes dos Santos、クリチバ植物園 (ジャルジン・ボタニコ) から約1キロメートル) の路上で強盗事件と銃撃戦が発生した。犯人は、通行人から携帯電話を強奪し逃走したが、通報を受けた警察官と銃撃戦になり死亡した。